

主張

新型コロナ ウイルス感染 症が猛威を振るっている。

緊急事態宣言

が出されて学校は休校になった。大型連休はステイホームが推奨された。5月4日、さらに期限が5月31日までに延長された。5月4

日までの感染者は世界で約355万人、死者は約24万9000人

である。国内では感染者1万5253人、死者数は556人である。

一方インフルエンザは世界でも国内でも感染者数は不明である。死亡者数はWHOの報告では年間25〜50万人である。国内では2018年に厚生労働省への死亡診断書で

3325人であった。

新型コロナウイルス感

染症がこの後さらに長引けば世界の死亡者数は1

年間ではインフルエンザ

の死者の50万人をはる

かに超えるであろう。国

内の死者は1年間続いた

たとして半分の1500

人から2000人までと

なしが関係する。第三に

はインフルエンザでは約

1週間で病状は治癒に向

かうが、高齢者ではその

まま合併症の肺炎になる。

新型コロナウイルス感染

症では軽症でも一転容体

が悪化することがある。

第四に新型コロナウイル

スはインフルエンザに比

ダノム氏は、このウイル

スについては分からない

ことばかりだと言った。

この分からないことが新

型コロナウイルス感染症

が恐れられる原因である。

新型コロナウイルス感

染症に効果のある可能性

のある薬は現在各地で研

究され始めている。アピ

されている。日本での死

亡例が少ないのがBCG

ワクチンの効果である

の見解がある。高齢者へ

の知見は得られていない。

ワクチンの開発には現在

各地で取り組まれている。

スイス・チューリッヒ大

学等では新型コロナウイ

ルスは血栓症を起こしや

すい。肺炎

が急に重症

化するの

肺血栓症

のためとの

見解がある。

これらはい

新型コロナウイルス感染症は世界の医学の英知を集めて克服しなければならぬ

推定される。

なぜ新型コロナウイル

ス感染症はこのように大

きく報道され恐れられて

いるのか。それにはいく

つかの要因が考えられる。

第一はインフルエンザに

は特效薬があるが、新型

コロナウイルスにはない。

第二にはワクチンのある

べ流行期間が長い。第五

は新型コロナウイルス肺

炎では人工呼吸器を着け

るしか手だてがない。第

六にはなぜか分からない

が、有名人の感染者が出

て、国内では有名芸能人

の死亡が相次いだ。など

であろう。

WHOのテドロス・ア

ガン(抗インフルエンザ)、

レムデシビル(抗エボラ

出血熱)、カレトラ(抗H

IV)、イベルメクチン

(抗寄生虫)、ステロイド

の吸入薬等が新型コロナ

ウイルス感染症に効果が

あるとして検討されてい

る。また中国では免疫を

増加させる漢方薬が報告

ずれも小規模な研究にと

どまっている。

今こそ医学は連携し英

知を結集し1人でも死亡

者を少なくする対策を確

立しなければならぬ。

人類はこの病に世界中で

一丸となって克服してい

かなければならぬ。